

平成 29 年 10 月 定例教育委員会々議録

1 日 時 平成 29 年 10 月 27 日 (金) 午後 1 時 30 分～

2 定例教育委員会

開催場所 会議室 301

3 出席委員の氏名

教 育 長	仲 野 孝	教育長職務代理者	齋 藤 和 夫
委 員	黒 川 優 子	委 員	山 崎 克 弥
委 員	中 野 信 男	委 員	秦 久美子

4 説明のため出席した職員

教 育 次 長	山 田 公 一	子育て支援課長	白 井 健 次
社会教育課長	宮 路 一 規	指 導 主 事	大 森 亨

5 本委員会書記

学校教育課 太 田 和 行 他 1 名

6 傍聴人

なし

7 会議に付議した事件

諸報告

- (1) 行事報告及び行事予定
- (2) 教育長報告
- (3) 寄附報告

専決処分の報告について

報告第 12 号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題

協議第 10 号 新規共催・後援申請について

議 案

議案第 45 号 燕市学校給食費取扱規程の一部改正について

その他

8 閉 会

会議録

別紙のとおり

1. 開 会 宣 言 午後1時30分～

2. 会議録署名委員の指名 黒 川 優 子 委 員

3. 諸報告

(1) 行事報告及び行事予定について  
〈各課長が報告〉

○委員（黒川 優子）

QU活用方法のQUとはどういったものなのか。

○指導主事（大森 亨）

QUとは学級内の子どもたちの学校生活意欲の尺度と学校満足度の尺度の2種類から構成されたアンケートテストの名前である。それを活かして不登校やいじめを解消していくための研修会が「不登校中1ギャップ対策研修」である。

(2) 教育長報告

〈仲野教育長が以下のとおり報告〉

1 はじめに

- 今月は、学校だけでなく教育委員会でも多くの行事が行われた。先月末は、地元の協議会と小中学校で連携した防災訓練があり、関係者のご協力のもと、小池中の1年生は、車いす体験と簡易担架による搬送訓練、2年生はAEDを使った心肺蘇生法講習会、3年生は段ボールを使ったベッドづくりを行った。
- 今年度の高等学校等への訪問では、専門高校や専門学科を中心とした訪問をとおして、小中学校の教員が研修し、今後の教育活動に活かしてくれるものと考えている。教育委員の皆さまにはご多用の中、参加いただき感謝している。

2 校長面談(10/16～20)

- 今年2回目となる面談を行い、校長からは「自己申告シート」や「学力向上対策シート」に基づき、教育活動全般に対する中間評価の報告を受けた。
- 全国学力・学習状況調査などの結果を基に、学力向上に向けた具体的な取り組みや教職員の勤務時間の管理、年次有給休暇の取得状況を聴き取ることができた。今後、指導主事には学校訪問をとおして課題解決にあたらせたい。
- 各校とも様々な課題の解決に向けて一生懸命取り組んでおり、これまで概ね順調に教育活動を進めているが、年度末まで気を引き締めて学校運営にあたるよう指導した。

### 3 10月行事予定より

#### (1) 通学路安全対策推進連絡協議会(10/11)

- 本市では、小中学生の通学路に対する安全対策を協議するため、新潟国道事務所や三条地域振興局地域整備部、燕警察署交通課及び庁内関係課の担当者から集まっていたき、標記の協議会を開催した。
- 会議では「燕市通学路交通安全プログラム」に基づき、学校が調査した危険箇所などの報告に対して具体的に検討するとともに、現場視察を行った。
- 関係機関の連携により、通学路の安全対策に取り組んでいきたい。

#### (2) 燕市立小・中学校の発展を願う市民の会(10/11)

- 教育委員会からは、学校教育の現状として、①学力実態と学力向上の概要、②ICT機器の整備と活用、③学校図書館、④特別支援教育の現状、⑤学校不適応・ひきこもり総合相談、⑥燕長善タイムについて説明させていただいた。
- 質疑では、様々なご質問をいただきながら意見交換も行うこともでき、今後の教育行政を進めるにあたり大変有意義であった。また、応援メッセージもいただき、子どもたちの一人一人の成長のために学校や保護者、地域との連携をさらに強めていく必要があると感じた。
- 市民の会の皆さまには、今後とも本市の教育活動に対して、ご理解・ご協力をいただくとともに、引き続きのご支援をお願いしたいと考えている。

#### (3) 市展

- 燕市美術展覧会は、市民の皆さんに優れた芸術に触れる機会を提供するとともに、日ごろの美術活動の発表や研鑽の場として、今年は第12回目として10月13日から16日まで吉田産業会館で開催した。
- この市展に合わせてMOA美術館つばめの児童の入選作品と8月に開催した「水道の塔を描こう」の作品展も同時に開催した。
- 日本画(24点)、洋画(21点)、工芸・彫刻(20点)、書道(41点)の合計5部門で141点(H28年度148点)の作品が展示された。年々出展数が少しずつ減少する中、どの作品も非常にレベルの高い優秀な作品であり、多くの市民の皆様からご来場いただいた。関係者の皆様のご尽力とご協力にも感謝している。

#### (4) 新潟県都市教育長協議会秋季定期総会(10/17)

- 加茂市を会場に標記総会が開かれた。会員異動では、上越市の教育長が替わり、7月29日から野澤朗教育長が就任した。
- 国や県に対する要望は以下のとおり。
  - ① 公立学校施設整備交付金の確実な予算確保について
  - ② 総合型校務支援システムの共同調達・運用について
  - ③ 学校事務代行要員(スクール・サポート・スタッフ)に配置について

- 情報交換の話題は以下のとおり。
  - ① 教職員の勤務時間の管理について
  - ② 新学習指導要領の全面実施に向けた授業時数確保と教職員の資質の向上について
  - ③ 閉校した学校施設の体育館等開放の取り扱いについて
- 国や県に対する要望や情報交換に対しては、県教育庁義務教育課の参事と財務課の副参事から助言などがあつた。
- 平成30年度の関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会及び研修会は、平成30年5月25日に静岡県藤枝市で開催されることになった。なお、この総会の燕市の当番は、平成31年の秋である。
- (5) 吉田西太田保育園民営化移行保護者・地域説明会(10/28)
  - この説明会は、7月から始めた3回の三者協議会で議論し方向性を出した内容について、保育園の保護者や地域の皆様に説明する機会を設けた。
  - 毎月末に発行している「みんないかつうしん」で三者協議会の内容をお知らせし、その都度ご意見やご要望を受け付けているが、より丁寧に民営化を進めるため、直接ご説明しご要望などをお聞きしたいと考えている。

#### 4 教育を取り巻く状況の変化

- 平成30年度の当初予算編成に向けて動き出している。本市の財政状況を考慮した予算要望となるが、政府が先月に打ち出した幼稚園や保育園などの無償化に注視していきたい。
- 先月、学校教育法施行令が一部改正され、学校休養日として新たに「体験的学習活動等休業日」が定められた。この改正は、学校の夏休みなどの長期休業日の一部を学期中の平日に移して設定する学校休養日の分散化を推進するものであり、子どもと親が共に体験的な学習活動をする機会を増やそうとするものである。改正政令は、教育委員会に対し、その休業日の設定について努力義務を課している。

#### ○委員（中野 信男）

公立学校施設整備交付金の確保とはどのようなことなのか。

#### ○教育長（仲野 孝）

老朽化に伴う大規模改造事業を行う際に、国からの交付金には頭打ちがあるため、大規模改造事業をやればやるだけ市の持ち出しが増えてしまう。そのため国に交付金額を上げてもらえるように要望をあげている。

○委員（中野 信男）

新築であれば交付金の交付率が異なるのか。

○教育長（仲野 孝）

その通りです。

○委員（中野 信男）

総合型校務支援システムの共同調達・運用とはどのようなものなのか。

○教育長（仲野 孝）

市町村によって異なるメーカーのシステムを使用している。燕市は三条市と弥彦村と同一のメーカーを使用しているため、この地域での教員異動であればソフトの問題はないが、それ以外からの転入であればゼロからシステムを覚える必要がある。校務支援システムの良さは仕事が効率的に行われることだが、国や県が教員の勤務時間の管理や多忙化解消を言うのであれば、どこも同一のシステムを入れても良いのでは、などが要望されたということである。

○委員（中野 信男）

業者を1つにすると価格が上がることも考えられるが、業者が競うことで技術が上がるのであれば複数あるのも良いのではと思うが、なかなか難しい問題である。また、学校事務代行要員とはどのような業務を行うのか。

○教育長（仲野 孝）

学校事務代行要員は、学校だよりやテスト問題等の印刷補助等を行うスクールサポートスタッフとして雇用・配置する人と言われているが、実際にどうなるのか確定している訳ではない。まだ話題だけで実質が伴っていないのが現状である。

○委員（中野 信男）

新潟中央高校の学校訪問へ行った際に、音楽科に驚かされた。とても充実していて、生徒の情熱もすごかった。燕市の分水高校や吉田高校を考える上で、市長からもぜひ学校訪問をしてもらって参考にして欲しいと感じた。

○教育長（仲野 孝）

平成9年に音楽棟を増築し、音楽科は県内唯一のものである。また、同科はすべての都道府県にあるものでもない。

○委員（中野 信男）

これは1つの専門学科のあり方のヒントになるのではないか。

○教育長（仲野 孝）

専門高校や専門学科は施設の整備にかなりお金がかかる。また、どちらかと言うと幼い頃から楽器や歌に触れている生徒でないと、少し厳しいのかもしれない。

○委員（中野 信男）

教育に関心のある燕市立小・中学校の発展を願う市民の会の団体と色々な意見交換ができるのはとても有意義だと改めて感じたので、これからも継続して欲しい。毎回きめ細かい資料を用意してもらえてありがたい。

○教育長（仲野 孝）

燕市立小・中学校の発展を願う市民の会が発足された背景を考えると、保護者としての目線とは違った角度からの意見がもらえるので、この意見交換の機会は大事にしていきたい。

○委員（黒川 優子）

高校訪問の行き先は小中学校の教員から希望訪問先を聞いて決めているのか。

○教育長（仲野 孝）

特に希望を取ってはいない。これまでは固定的に高校訪問を行っている。燕中等教育学校へは毎年訪問をしているが、高校は同じ学校が続かないようにしている。当初、燕市の学力向上の部分が大きな課題であったため、中学校の先生を中心に見て欲しいということから始まった。昨年は燕の産業の部分に重点を置いて、新潟県中央工業高校を訪問するなど課題を持ちながら訪問先を考えている。今年は研修として地元の分水高校の訪問を行った。

○委員（黒川 優子）

先生方が色々な学校を見るのは子どもの能力を伸ばす点においてはとても良いことだと思う。今年、燕中等教育学校を訪問した際の授業の進め方が、燕市が長善タイムを初めてスタートさせた頃の理想とした形にととても近いと思った。高校生が時間に追われて回答を考えるのはすごく頭を使い、勉強になると思う。授業に入る前に心を静めるのではなく、まず脳を活性化させるやり方を燕市も念頭において、当初長善タイムを導入したことを思い出して欲しい。

○委員（齋藤 和夫）

富山県への視察では、東北大学の先生の指導による、じっくり考えるのではなく、とにかく頭の回転を速くすることで、センター試験のボリュームに対応できる方法を学んできた。その後、燕市に長善タイムを取り入れた。長善タイムの解釈を変えると最初のスタートの時と趣旨が変わってくると思う。小池中学校では長善タイムの成果が別の面が出たことで、長善タイムの最初のスピードを手に入れるという考えが薄れてしまったように感じている。

○委員（黒川 優子）

以前に視察をした長善タイムで、子どもが間違った回答をしたことに教員が指摘を行い、先へ進むことを優先しないで止めてしまった事例があった。間違っても良いから次々と考えて進めることが脳の活性化につながるので、できれば一日の真ん中の時間ではなく、朝一番の時間に頭を働かす時間をとって欲しかった。先生の異動などで考え方が少しずつずれてきているように感じたので、再度検証する必要があるのではないか。

○委員（山崎 克弥）

当初高校訪問を始めた時に、小中学校の先生がほとんど高校を訪問したことがないと聞いた。自分も新潟高校や長岡高校など色々な高校を訪問してきたことで、それぞれ学校の校風は全く違うと感じた。先生方からも単に学力の差だけでなく、実際に学校へ行って特色や校風をじかに感じてもらい、生徒に進路指導を行って欲しい。

○教育長（仲野 孝）

すべての学校ではないが、中学校では高校説明会を行ったり、各高校がオープンスクールや体験入学を行う際に3年の担任だと一緒に高校へ行くことはあり、訪問の機会はあったと思うが、授業を見ることはなかったと思うので校風を知るなどの情報共有に関しては新たな方策を考えていきたい。

(3) 寄附報告

1 件の寄附報告について  
〈宮路社会教育課長が報告〉

4. 専決処分の報告について

報告第 12 号 共催・後援の教育長専決報告について



4 件の共催・後援について

〈No. 1 ～ 3 宮路社会教育課長が説明〉

〈No. 4 太田学校教育課長補佐が説明〉

## 5. 協議題

協議第 10 号 新規共催・後援申請について

3 件の後援について

〈宮路社会教育課長が説明〉

審議の結果、全員異議なく承認された。

## 6. 議案

議案第 45 号 燕市学校給食費取扱規程の一部改正について

〈太田学校教育課長補佐が説明〉

○委員（中野 信男）

指定金融機関と指定代理金融機関は何が異なるのか。

○学校教育課長補佐（太田 和行）

市の指定金融機関となると北越銀行燕支店のみとなる。指定代理金融機関となると燕市内に支店のある第四銀行、大光銀行、労働金庫等のすべての金融機関が該当となる。

審議の結果、全員異議なく議案 45 号は原案通り議決された。

## 7. その他

8. 閉会 午後 2 時 42 分

教 育 長 仲 野 孝

---

会 議 録 署 名 委 員 黒 川 優 子

---

会 議 録 調 整 者 竹 田 亮 子

---